

カトリック 大名町教会ニュース

DAIMYOMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER

〔ミサ時間〕主日ミサ:(土)19時／(日) 7時・9時30分／英語ミサ(日)16時

〔ホームページ〕<http://church.jp/catholic-daimyoumachi/>

〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7 〔巡〕能古島カトリック教会 ミサ(土)18時

Tel:092-741-3687 Fax:741-5107

〒819-0012 西区能古弁当 1621-12

発行責任者:杉原寛信神父

12

福岡教区年間テーマ：信じる喜びから 伝える喜びへ

大名町教会年間テーマ：全ての人に対してキリストの光でありなさい！

Be the light of Christ to everyone.

世界宣教の日
10月20日

ローマ教皇来日記念企画展に 2000 人 閉幕

日本宣教の保護
者 F.ザビエル
12月3日

ご降誕祭のミサ時間

* 12月24日(火)・18時半・21時

* 12月25日(水)・10時・15時(能古島教会)・16時(英語ミサ)



11月24日、11月25日の両日、長崎・東京の教皇ミサに8万人以上の人々が祈りを共にしました。

勉強会

杉原 寛信 神父
毎週木曜日
10:00 キリスト教入門
14:00 聖書の分ち合い
19:00 キリスト教入門



◇キリスト教講座が行われています。

- ・水曜コース：19:00 から
- ・金曜コース：10:00 から

*キリストの光に気づくために！
*どなたでも参加できます。

ゆるしの秘蹟：12月7日(土)・14日(土)・21日(土)・1月11日(土) 10時から 小聖堂/日曜日 8時45分

サンタクロースの姿

「有り余る豊かさの上にさらに豊かさを上積みするサンタではなく、困っているお友達のことを気づかせ、子どもたちに協力をお願いするサンタがやって来てほしい。サンタ役を頼まれ、引き受ける条件を伝えた。贈り物の袋の他にもう一つ空っぽの袋を持って子どもたちの前に現われること。子どもたちに前もって伝え、サンタに差し上げる贈り物を用意してもらう。：クリスマス会の日、子どもたちへの贈り物が配られたあと、ひと月前からお母さんや先生たちと一緒に貯めてきた『助け合い募金』の大きな箱を、子どもたち皆でサンタの空っぽの袋に入れた。サンタは子どもたちにお礼を述べ、困っている人たちのところへ届けに出かけて行った」。

フランシスコ教皇訪日。迎えた皆がいた。豊かに受けた。メッセージ。微笑み・ミサ聖祭・出会い：等。教皇の携えて来られた袋は空っぽに。与え尽くされた。もう一つ持って来られたはずの袋に、私たちは何を入れたか、これから入れるのか？

ペシャワール会の中村哲医師が銃撃により死去のニュース。人を大切にする医師。そしてアフガニスタンという国を診察し、癒す方だったように思える。与え尽くした。そして受けたもので満ちた袋を抱えて天に向かわれたのでは。

主の降誕。イエスは与えるため、そして受けるために来られる。

最上のものを持って来られるので、最上のものを差し出したい。

大名町カトリック教会

主任司祭 杉原 寛信 神父

10月19日から12月4日までの40日間、企画展を訪れた方々の声を聞いてください。

☆「先週は教皇様の来日の様子のテレビニュースに釘づけになりました。人として基本となる大切なもの、失ってはいけないことを教えられました。今日は演奏会の目的で福岡に来ました。『あなたに話がある』という教皇様来日を知らせるポスターに引かれて、企画展を拝見しに、この教会に立ち寄ったことは私に意味のあることとなりました。」



ボランティアはまずお祈りをして受付開始

《企画展に会場された方のアンケートご感想から》



た。人を敵対視するのではなく、愛し、抱きしめるものということを深く心に刻んで帰路につきます。本当にありがとうございます。美しく豊かな空間でした」。

(別府市60代女性 宗教は特になし)。

☆「学校の授業でパパ様の簡単な動画を見て気になり今回見にきました。パパ様がたくさんの人々から愛される理由がよくわかりました」。

(10代女性 宗教特になし)。

☆「この展示会のことを突然知りまいました。私は仏教徒ですが、キリスト教の友人が多く、この度もフランシスコ教皇様に遠くからでも一目お目にかかりたく長崎に行き



たかったのですが。クリスマスには友人がミサに誘ってくれると思います。世界の平和を祈りたいと思います。心からの祈りです」。(60代女性)。

☆「一番良かったのはビデオでした。子どもが『なぜ子どもが苦しまなければならぬの?』と質問し、その答えをパパ様がされていた。自問しています、何をなすべきか」。

(50代女性 カトリック信者)。

☆「長崎と広島を教皇が訪ねられているときにこのような展示を見ることができ、とてもうれしく思います。すべての核兵器がなくなりますように。また原発も」。(30代男性)。

☆「人生50代後半で改めて神様が近くにおられるような感じがします。今まで遠く遠く感じていましたが、一生のうちでかけがえのない時をプレゼントしてもらったようです」。

(50代男性 カトリック信者)。

◆あらゆる垣根を越えて、一人ひとりに呼びかけ、一歩前進することを促す教皇フランシスコ。そのメッセージ発信に少しでもお役立てたとすればほんとうによかったです。



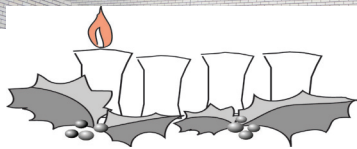
「アジジの聖フランシスコ」 作：森田貴博
2013年3月13日に教皇に選出された、ホルヘ・マリオ・ベルゴリオ枢機卿は、完全なる従順、清貧、慈愛の聖者アジジの聖フランシスコの名前をいただいて「教皇フランシスコ」と名乗られました。



子どもも大人も外国籍の方も、「パパさまへ」の寄せ書き

皆様のあたたかいご理解とご協力に対し、ご不便を多々おかけしたことのお詫びとともに、感謝いたします。

(深堀純・企画展実行委員)



神さまの愛を伝えるために天神に行ってきました



12月1日 待降節第1主日
第1のローソクに灯をともし、幼子イエスを待つ喜びを宣言する教会学校の子どもたち。

待降節

カトリック大名町教会の11月



11月25日、市民クリスマスのための事前祈祷会が行われました。

12月9日(月)の18時半から市民会館で72回目の市民クリスマス開催です。

おめでとう！
神さまの元気な子どもになってください。

豊嶋 実徳
豊嶋 清香
倉員 章
池田 亘
友納 至誠
藤原 海史



11月10日は、6人の子どもがミサの中で七五三の祝福

11月4日、今年も神学院祭 雨のち晴れ



大名町教会の名物 ハヤシライス
今年も早々に完売です。どうしておいしいのかって？ みんなの愛情がしっかり隠し味です。

ちょっと寒かったけど
神学生に祝福をいただ
いてうれしかった。



11月4日「福岡カトリック神学院」。今年の主式は鹿児島教区の名誉司教の郡山健次郎司教様。50人を超える司祭と神学生、九州中から集まった信徒・修道者で祈りを捧げました。フランシスコ教皇様の訪日も決まりみんな嬉しそうでした。

見よ、新しいことを
わたしは行方。 (イザヤ43・19)

小さき花の会

「聖書通読会」

・12月8日(日) 9時半ミサ後、信徒会館応接室

・通読箇所…レビ記9章

・「ミサ奉仕」

・第2週目 ロザリオ先唱、奉納。

・第3週目 奉納

・2019年中のミサ奉仕のご協力有難うございました。

・来年もよろしく願います。

大名町教会11月の現勢

【転入】 (～教会から)

・メルキオ 倉員正光/マリア

・真理子/マキシミリアノコ

・ルベ 章(長崎教区西町教会)

・アンナ 藤村美智子(長崎教

区浦上教会)

・マリア 濱元美代子(大分教

区宮崎教会)

・マリア 小島エミ子(長崎教

区中町教会)

・マリア 米田マリア/ステフ

アノ 貴浩(笹丘教会)

【幼児洗礼】(～両親)

・Jose Torralba

(Torralba Yaser(父)と

Emi(母))

【帰天】

・11月5日

モニカ

許斐藤子

教会委員会

11月10日委員会

検討事項

- 1 街頭募金の送金先について
台風19号被災者のための募金活動を行う。教会学校では、事前に被害のことを学び、支援のため呼びかける。送金先はカリスト南相馬。
- 2 クリスマスについて
① 夜半のミサ、防災のため3階席にパイプイスは置かない。
② 12月24日23時30分のミサ
外国籍の信徒増、英語、ベトナム語の聖書と典礼100部ずつ発注。
- 3 クリスマス前の大掃除について
12月22日(日)ミサ後実施。クリスマス前の大掃除は気持ちを整える意味でも大切。教会学校クリスマスパーティーと重複講堂はパーティー後実施する。
- 4 教会委員会の委員改選について
来年度は委員改選の年。
『候補者推薦委員会』を設置する。
- ・今後、教会委員の任期を現状の1期、2年から3年とし、候補者推薦委員会の委員の選出については委員 長に一任、今後の取りまとめについては、久志昇氏に依頼する。
- 5 福岡ソフトバンクス優勝パレードについて
危険防止のため7時のミサ終

- 了後門を閉める。
- 6 駐車場の許可制について
来年度2020年1月から大名町信徒に限り、試験的に申告制による駐車場の申し込みの呼びかけを行う。運用開始後、対応策を改めて検討 する。教区顧問会においても検討状況を共有していただく。詳細は随時信徒会にて信徒に報告、連絡していく。
- 7 避難訓練の振り返りについて
10月27日ミサ後滞りなく終了。避難開始の行動のタイミング、私語の多さなど、意識の必要性を今後の課題とする。
- 8 神学院祭の振り返りについて
ハヤシライス、一皿300円、160人分販売。事前の準備、販売、様々な協力に感謝。
- 9 七五三の振り返りについて
滞りなく終了。
- その他
1 教会学校練成会について
11月30日から1泊2日で長崎へ。子ども6名、保護者3名、リーダー4名参加。予算16万円。堅信式は来年度2月2日に予定。
- 2 営繕部
空調、度重なる故障発生。2・3年かけて大聖堂の空調工事の計画を検討。
大聖堂の水銀灯LED化は困難。予備の水銀灯購入。3・4階のLED工事も終了。12月2日設置予定。
- 3 主任司祭の日曜日不在について

会長のつぶやき

実際に、神はあなたたちの間にいる。



♪ひとつになろう、キリストのうちにひとつになろう。♪

フランシスコ教皇様の訪日、そしてミサにあずかった恵みは、一人の信徒、人間として熱いものを感じたものでした。それは、イエス様のエルサレム入城のシーン、神の名によりて来たるもの、天のいと高き所にホザンナ、ホザンナと群衆が歓喜の声を上げたシーンを彷彿させるものでした。

球場にオーブンカー(パパモビル)に乗って来られたフランシスコ教皇のお姿を見た瞬間、喜びの涙、恵みに対する感謝、神との交わり、人々との交わり、名も知らぬ隣の席の人との握手、抱擁、歓喜、「パパ、ビーバ」の歓声、たくさんのキリストとの出会

- 12月1日、12月8日。
杉原神父様より報告あり
- 4 市民クリスマスについて
12月9日(月)、福岡市民会館にて。18時会場、18時30分開演。
- 5 信徒より、クリスマスローズ株の寄贈あり、駐車場奥の花壇に植えること了承。

い、みんなが兄弟姉妹、一言では言い表せないものでした。教皇様が私たちにくださったものの一つは「つながっていること。まさに、「キリストはブドウの木」。

全世界の人々、長崎、東京のミサにあずかった人も、教会に残った人も、すべての人が一つになる、共同体の一致でした。

二つ目は、私たちへのメッセージ『すべての命を守るために』。教皇様がまかれた種を、『育てていくこと』でしょう。私たちの共同体は良い土地です。教皇様は高齢をおして、厳しいスケジュールの中、数多くの種をまかれました。杉原神父様、また協力してくださる多くの司祭の皆さんの司牧、指導の中、またすべての人々、外国籍の人々とともに手を取り合って歩んでいきたいものです。教皇の長崎ミサ、また企画展に際しては、随時、杉原神父様へ報告し、連絡、相談を重ねました。当日夜8時『最後のバス到着全員無事に戻りました』の報告をすると、神父様より『ねぎらいの言葉とすべてに感謝』のメール。その後、佐世保の友人からは、『教皇ミサにあずかり恵みが倍増したように感じます。』との喜びのメール。

神の代理人、教皇様は私たちに、直接、身近に『喜べに、喜べ』を届けてくださいました。

大名町教会信徒会長

濱崎 公夫